






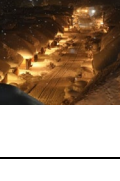


10月21日は「あかりの日」フォトコンテスト

2022.10.21

総評

誰もが毎日恩恵にあずかっているが、ともしればそのありがたさを忘れがちな電気と「あかり」。今回のフォトコンテストで最優秀賞に選ばれた10点の作品をはじめとするたくさんの方々の写真は、どれも私たちの夜を安全に照らし心浮き立つ空間に変えてくれる「あかり」の素晴らしさを見事に表現したものばかりでした。応募規定は「スマホで撮影された写真のみ」となっていますが、これは「制約」ではなくてむしろ誰でも参加できるという「メリット」になります。いまスマホは高級なカメラに負けない写真を撮ることができます。今回の入賞作品のクリエイターがその能力を物語っていると思います。いつも持ち歩いているスマホと、日本中で毎晩どこでも見ることのできる私たちの暮らしと「あかり」の素敵な関係…。入賞作品のどれもそんなワクワクするような発見と驚きに満ちていて、とても楽しい審査でした。

作品番号	賞	作品画像	作品タイトル	撮影都道府県	氏名	審査委員長コメント
1	50 最優秀賞		バンブーファンタジー (ばんぶーふぁんたじー)	京都府	福田 尚人 (ふくだ なおと)	竹林のライトアップをたいへんダイナミックに捉えて、迫力と臨場感のどちらもが作品から良く伝わってきます。足元の照明の位置などもしっかり画面の中で確認しながら、美しい竹の葉のボリューム感を画面いっぱいに撮り入れるなど、大胆で緻密な画面構成が最大の魅力です。下部の闇の分量もほど良く、照明された明るい部分との全体バランスも良いと思います。
2	171 最優秀賞		テント姫 (てんとひめ)	愛知県	丹羽 友香 (にわ ゆか)	最初は本格的な写真スタジオでの撮影かと思ったほどのセッティングのうまさや撮影技術でしたが、ご自宅での「グランピングごっこ」。なのでしょう。柔らかいあかりに包まれてご満悦なテント姫さんの無邪気で可愛い表情と仕草が見事に捉えられていて感心します。お子さんの夢を育む素敵なアルバムフォトが出来上がりましたね。
3	66 最優秀賞		灯籠に願いを (とうろうにねがいを)	東京都	高島 賢 (たかしま さとし)	皇居千鳥ヶ淵の灯ろう流し。御堂を想える多くの灯ろうがお濠の水面に幻想的に漂うなか、遠くには高層ビル街や東京タワーのあかりがそれを見守るように輝き、その対照的な二つの要素が画面の中で深い内容を作り上げているところがこの作品の大きな魅力です。この行事を捉える最適な場所を発見し、縦位置で興行のある画面を構成したことが成功の秘訣でした。
4	110 最優秀賞		僕だけの夜 (ぼくだけのよる)	東京都	梶本 いる (かじもと いる)	美しい浅草寺五重塔のライトアップとスカイツリーの二大観演を、個性的なアングルで上手にまとめましたね。主人公に見立てた狛犬の存在感がとても効果的なので、「僕だけの夜」と付けたタイトルによって、擬人化されたキャラクターを主人公にしたファンタジックな物語が出来上がり、本当に狛犬が光の二大観演を楽しんでいるように見えてくるから不思議です。
5	99 最優秀賞		列車待ち (れっしゃまち)	長野県	矢島 奈 (やじま なか)	雪の降りしきる小さなローカル駅で撮られた、たいへん上手なスナップショットです。到着した電車の前照灯とホームの裸電球が、小さな日常のドラマをホッカリと暖かく演出してくれます。これから一緒に乗り込もうとするのか、どちらかが送りにきたのかかわかりませんが、若いカップルの後ろ姿からさまざまなことも想像されて、作品に余韻を残します。
6	96 最優秀賞		街の灯り (まちのあかり)	東京都	松浦 可奈 (まつうら かな)	綺麗な渋谷の夜景をズバリと切り取って好感が持てます。手前の賑やかな光のボリューム感から遠くのまばらな街あかりまでのグラデーションに都市独特の味わいがあり、そこまでをきちんと丁寧にフレーミングしたところに画面構成のうまさやセンスの良さを感じます。煌めきの一粒ごとに人の営みと喜怒哀楽があることをあらためて思わせてくれる夜景です。
7	91 最優秀賞		金魚と灯り (きんぎょとあかり)	東京都	原田 恭子 (はらだ きょうこ)	近年人気を呼んでいる金魚と照明のコラボレーションによる展示ショー。金魚が良い所に来た瞬間をうまく捉えています。背景をしっかり整理して黒バックのみでまとめたことで色の対比が際立ち、対象のアート性をさらに強調することができました。金魚たちが水の中ではなく、まるで光に封じ込められたように見えて不思議な効果も上げています。
8	52 最優秀賞		酷寒でも暖かい宿場町 (こっかんでもあたたかいしゅくばまち)	福島県	佐山 勝信 (さやま かつのぶ)	これぞまさしく人とあかりの原点とも言えそうな日本の古来からの風景でしょう。しんと降りたくさんの綿雪に包まれているのに、これらの家と町並みからはなぜか暖か味さえ感じています。あかりが人の心にも与える癒し効果とも言えそうです。高い位置から暗い部分を多めに撮り入れたことで、降雪もしっかり描写でき、あかりの部分も強調されました。

9	14	最優秀賞		夕闇 (ゆうやみ)	神奈川県	伊藤 章男 (いとう のりお)	横浜みなとみらい21のメリーゴーランドですね。よく見る回転中の楽しい写真とはひとあじ異なり、少しクールなイメージに仕上げられています。無機質なビル群の手前で対比させることにより、レトロ感あふれる回転木馬の形と電飾の懐かしい色調が、ひとときわ人間的で暖かく見えてきます。近未来的でもあり、どこか喪失の切なさも予感させる不思議で魅惑的な作品です。
10	26	最優秀賞		輝く時間、輝く木 (かがやくじかん、 かがやくき)	東京都	田代 斗和子 (たしろ とわこ)	マジックアワーとかブルーモーメントと呼ばれる夕方のひとときだけ訪れる美しい空の残照の色と、人工照明を巧みにミックスさせた写し方がとても魅力的です。空に向けたアングルによって歩行者の姿が省略されたことも静寂な感じが出て良かったと思います。中央のビル全体のベバメント色の照明もとても良い色彩アクセントになり、効果的だったと思います。